

単独継続困難の申し出系統について

協議事項の概要

対象路線	長岡伊豆三津シーパラダイス線 沼津静岡長岡線 天城峠線（新規申し出系統）
道路運送法の種別	一般乗合旅客自動車運送事業（路線定期運行）
協議内容	運行継続の可否
実施理由	伊豆箱根鉄道伊豆長岡駅から伊豆長岡温泉を經由し、伊豆三津シーパラダイス間を結ぶ「長岡伊豆三津シーパラダイス線」及び伊豆長岡駅から伊豆長岡温泉を經由し、沼津間を結ぶ「沼津静岡長岡線」、下田駅から天城峠を越え、修善寺駅を經由し、順天堂大学静岡病院を結ぶ「天城峠線」について、欠損額の増大により 10 月に静岡県生活交通確保対策協議会へ単独継続困難の申し出をしたため、当該路線の対応について協議するもの。
経緯等	令和 6 年 12 月 静岡県生活交通確保対策協議会の申し出 令和 7 年 1 月 当該路線の運行存続に係る協議（今回） 静岡県生活交通確保対策協議会への協議結果報告

単独継続困難の申し出系統の概要

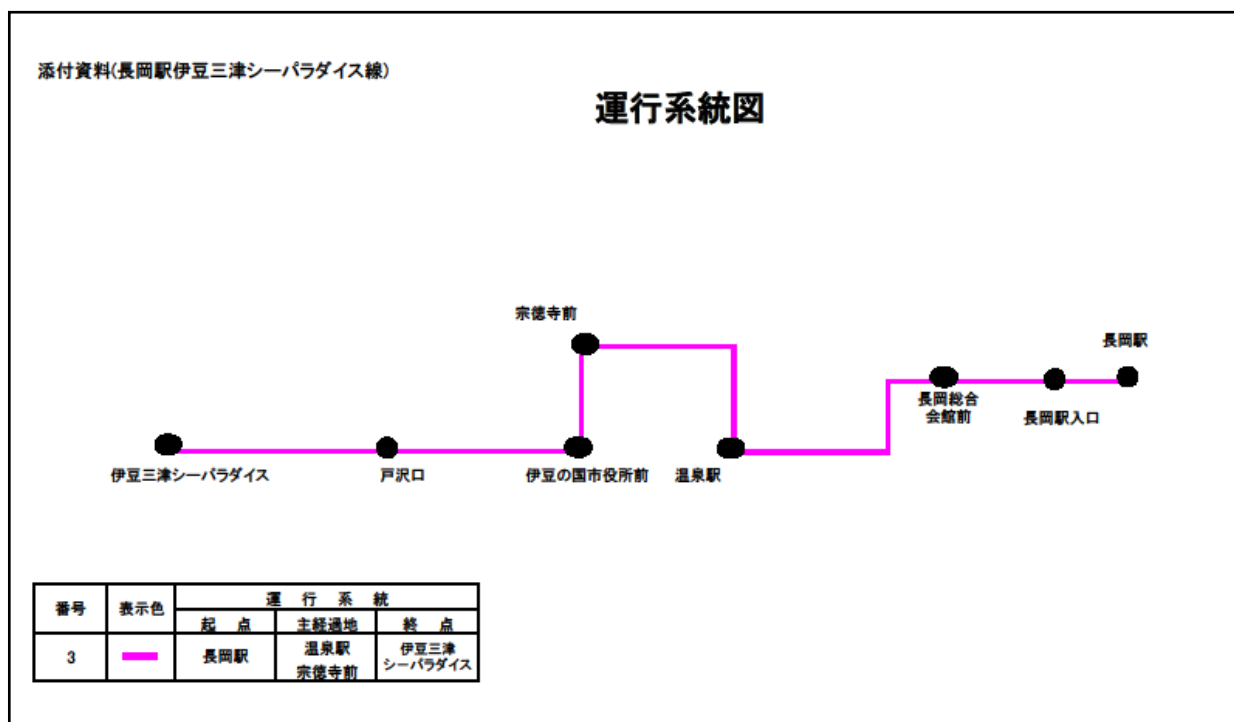
【長岡伊豆三津シーパラダイス線】

路線概要	当該路線は、沼津市の内浦・三津地区から伊豆の国市の伊豆長岡駅を結び 2 市を跨いで運行している。市内の沿線には、伊豆長岡温泉・順天堂大学病院・市役所等、観光・宿泊施設、病院、公共施設が点在しており、観光利用も一定程度あるものの、多くは通勤・通学・通院等の生活交通として利用されている。 当該路線は、伊豆の国市内のみで完結する利用者も多くあるが、沼津市内から伊豆の国市内間をバスで移動し、伊豆長岡駅から電車に乗り換えて、三島方面への通勤・通学で利用されるケースも一定程度見受けられる。
利用実態	① 市跨ぎ状況 全体で 27%の方が市跨ぎによる利用 ② 利用者割合 一般 73% 学生 2% 高齢者 25% ③ 男女比率 男性 32% 女性 68%

運行実績（乗車人員や欠損額等）

	運行系統			区分	実車走行 キロ	乗車 人員	経常 費用	経常 収入	欠損額
	起点	通過地	終点		(km)	(人)	(千円)	(千円)	(千円)
長岡伊豆 三津シー パラダイ ス線	長岡 駅	温泉駅 宗徳寺	伊豆三津 シーパラ ダイス	5 年度	97,297	122,972	40,207	31,719	8,487
				6 年度	92,338	121,278	44,635	28,879	15,756
				7 年度	90,713	120,916	43,850	28,788	15,062

系統図

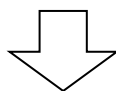


路線図



関係する地域への説明及び意向確認

関連する地域（南條区、長岡区、古奈区、小坂区、長瀬区、戸沢区）の各区長に当該路線の状況説明及び意向を確認したところ、全ての区長から「**継続運行を希望する**」旨の回答を得た。



市の見解

地域の必要な生活路線として認められることから市としても路線の維持を希望する。

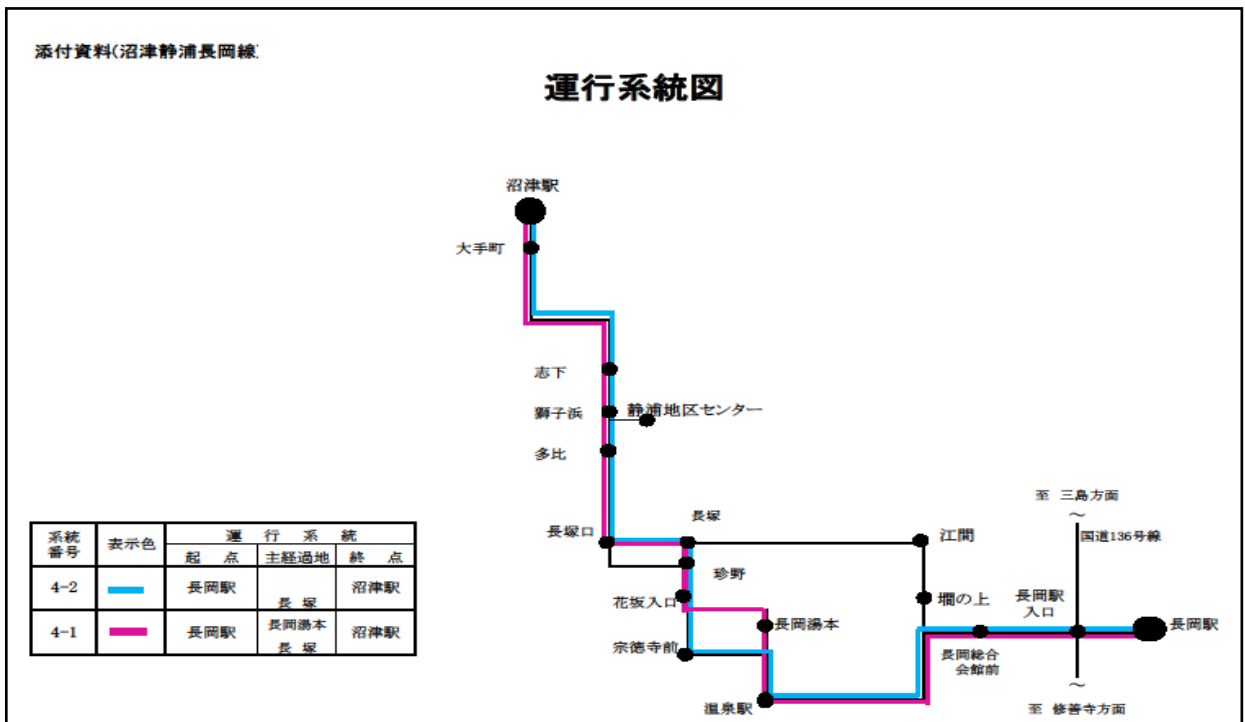
【沼津静浦長岡線】

路線概要	当該路線は、沼津駅～長岡駅間を結び、沼津市・伊豆の国市に跨がって運行している。伊豆の国市内の沿線には、長岡中学校・長岡南小学校・伊豆長岡温泉・順天堂大学病院等、観光・宿泊施設等が点在しており、観光利用も一定程度あるが、多くは通勤・通学をはじめ順天堂大学病院への通院や伊豆長岡駅までの移動手段に利用されている。 系統については、基本の「沼 71」と、日中の時間帯は伊豆の国市の長岡リハビリテーション病院・長岡湯本を経由する「沼 72」の2系統があるが、申し出については、補助要領に則り「沼 72」を主系統として、同一系統とみなしている。		
利用実態	① 市跨ぎ状況	全体で 15%の方が市跨ぎによる利用	
	② 利用者割合	一般 78%	学生 6% 高齢者 16%
	③ 男女比率	男性 36%	女性 64%

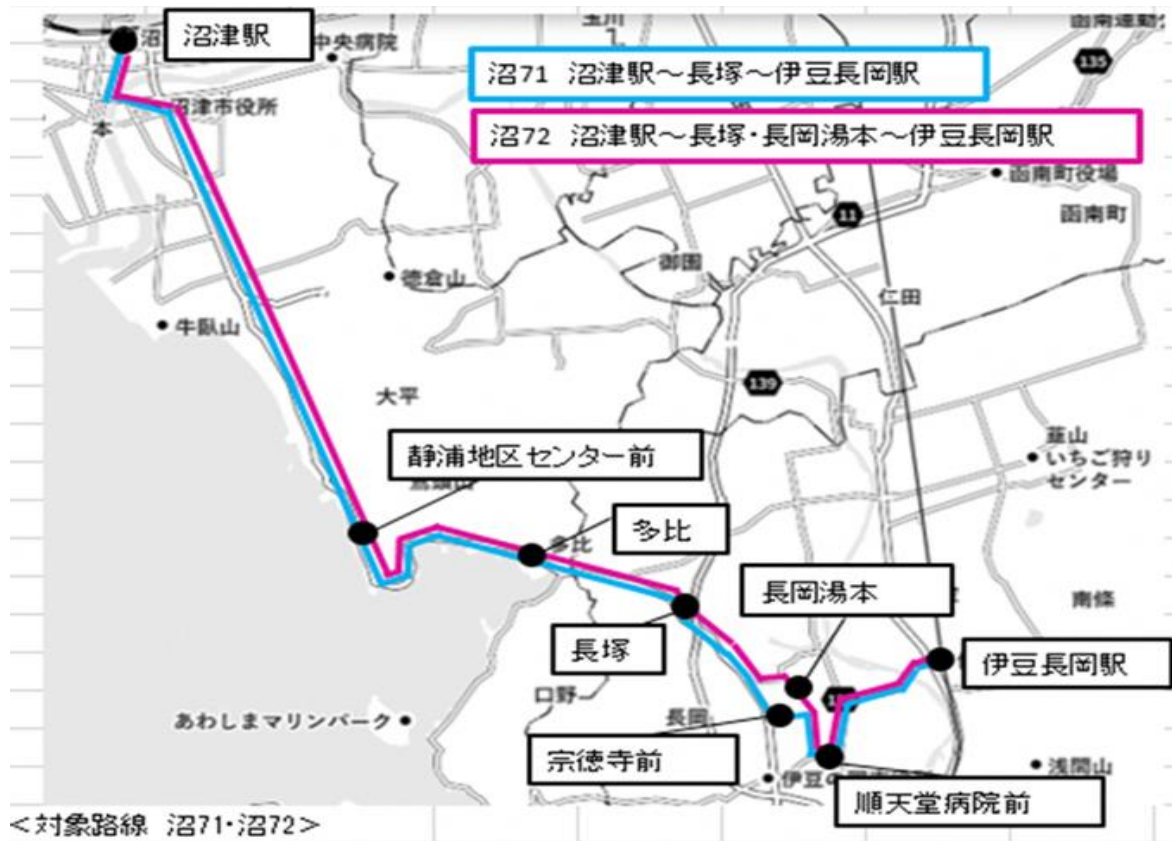
運行実績（乗車人員や欠損額等）

	運行系統			区分	実車走行 キロ	乗車 人員	経常 費用	経常 収入	欠損額
	起点	通過地	終点		(k m)	(人)	(千円)	(千円)	(千円)
沼津静浦長岡線	沼津駅	長塚・長岡湯本	長岡駅	5年度	280,030	389,320	115,719	103,502	12,217
				6年度	262,486	369,100	126,883	94,288	32,595
				7年度	255,165	367,874	123,344	93,977	29,367

系統図

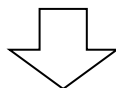


路線図



関係する地域への説明及び意向確認

関連する地域（南條区、長岡区、古奈区、花坂区、珍野区、長塚区）の各区長に当該路線の状況説明及び意向を確認したところ、全ての区長から「継続運行を希望する」旨の回答を得た。



市の見解

地域の必要な生活路線として認められることから市としても路線の維持を希望する。

「修善寺駅～天城峠～河津駅線（天城峠線）」および新系統の 「順天堂病院～修善寺駅～天城峠～河津駅線（天城峠線）」の 「国庫補助(地域間幹線系統)」適用について

○ 現況

天城峠線は、伊豆箱根鉄道の修善寺駅から歌にも歌われている天城越えをしながら伊豆急行線の河津駅を結ぶ41.4kmの長距離路線で、伊豆半島の南北をつなぐ重要な路線であります。修善寺から河津へ移動する場合、鉄道では、三島、熱海、伊東をぐるっと回らなければならないところを直接つないでおり、修善寺駅では、伊東、戸田、大仁方面、河津駅では下田、稲取方面、途中のバス停からは、西伊豆方面、湯ヶ島温泉・持越温泉方面等の路線に乗り換えることができることから、弊社では、幹線系統として位置づけております。

伊豆市と河津町の境となる「天城峠」および旧修善寺町と旧湯ヶ島町を跨いで利用されている利用者は、全体の約4割になります。

（令和6年乗降調査結果 353人中、市町を跨いでいる人員144人（40.8%）
うち通勤・通学32人、通院等30人、観光利用82人）

○ 国庫補助申請理由

当該路線は、利用客の減少が続く中、さまざまな収支改善策を講じながら、貸切バス事業の収益等で内部補填しながら維持してまいりました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、大幅に減少した利用客も回復傾向にあり、特に観光利用が増加しておりますが、収支状況は厳しいものがあることから、引き続き国庫補助によるご支援をいただきたく、次項新系統と再編したうえで申請するものでございます。

※令和5年度欠損額 61,683千円、令和6年度欠損額 83,223千円、令和7年度見込み 72,578千円

○順天堂病院～修善寺駅～天城峠～下田駅線について

(現況と申請理由)

現在、天城峠以南の通院者を対象とした、下賀茂から下田駅、河津駅、天城峠を経由し、順天堂病院を結ぶ直通の事業者路線を1往復運行しております。この路線は運行当初から単独での維持が困難であったことから、沿線市町と順天堂病院からの支援をいただきながら運行を継続してまいりました。しかし、コロナ禍の輸送人員の減少や回復の鈍化、収支の悪化により維持存続が一層困難となりました。

そこで関係市町等と協議を行い、令和7年4月より下田駅を起点に河津下田道路、天城峠、修善寺駅を経由し順天堂病院を結ぶ事業者路線として1往復の運行を計画いたしました。

しかしこの路線をもってしても損失を埋め合わせるまでには至らないことから、地域間幹線系統の修善寺駅～天城峠～河津駅線（天城峠線）10往復を既存の「修善寺駅～天城峠～河津駅線」と「修善寺駅～天城峠～下田駅線」に分割・再編し、国庫補助による支援を受けながら両路線の維持を図っていくものです。なお、分割は既存系統を7割程度、当該系統を3割程度とし、一部は修善寺駅から順天堂病院まで延伸いたします。

新設の当該路線は、4市町をまたぐ広域路線であり、起終点の下田駅と南伊豆、西伊豆方面との交通ネットワークを活かし、通院利用だけではなく、その他利用の創出に努め収支改善を図ってまいりますので、既存の天城峠線とともに国庫補助によるご支援をいただきたく申請するものでございます。

○ 提案理由

令和7年10月から国庫補助（地域間幹線系統）の適用を受ける場合、令和6年9月末までに東海バスが静岡県地域公共交通活性化協議会バス専門部会に対し、「単独継続困難（国庫補助分）」の申し出を提出することが必要となります。⇒【提出済】

さらに、沿線の各市町の地域公共交通会議において、当該系統を国庫補助とすることについて議題として諮り、承認を受ける必要があることから、提案するものです。

○ 収支改善について

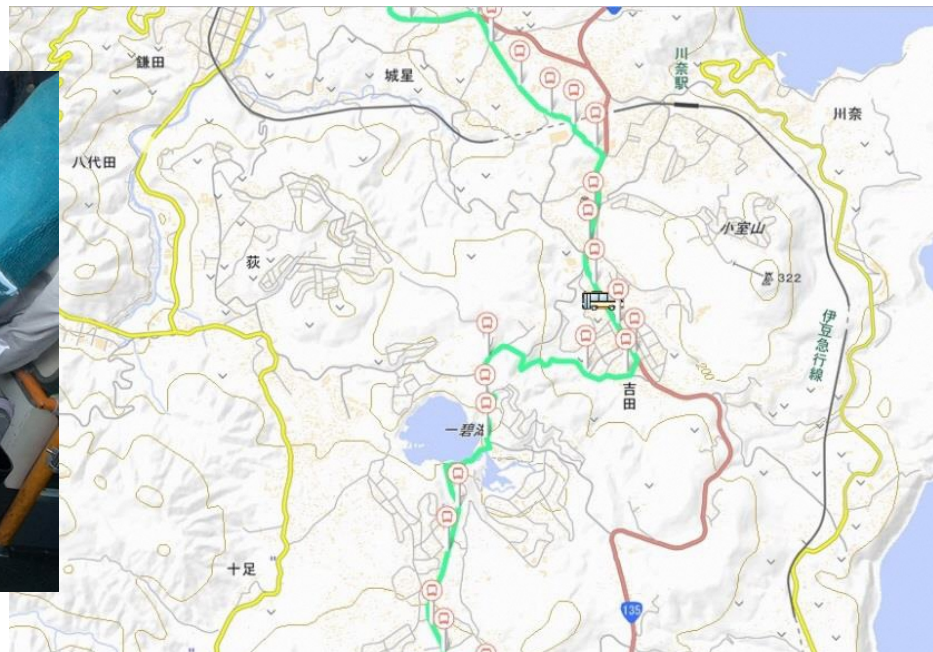
これまでも、エコドライブ(省燃費運転)の取り組み等による経費削減策を行う一方で、利用人員および収入の増加のため、さまざまな利用促進策およびダイヤの見直しを実施してまいりました。特に、平成25年度からは「わかりやすいバス、乗りやすいバス」をスローガンにして、増収対策の強化を図っております。また、令和5年12月には約26年ぶりに運賃改定を実施する等、さまざまな施策を行っております。

今後も引き続き収支改善に取り組み、補助金の減額に努めてまいりますので、ご理解ご協力をお願いするとともに、国庫補助適用につきましてご承認くださいますようお願いいたします。

～増収策～

- ①路線バス時刻表の全戸配布(新聞折込・地区回覧板を利用した配布)
- ②バスの接近情報の表示 ③系統番号化の推進 ④バスの乗り方教室
- ⑤時刻検索サイトへの掲出 ⑥バス停デザイン統一の推進(バス停コード)
- ⑦バスロケーションシステムの導入 ⑧デジタルサイネージの設置
- ⑨「MaaS」への参画(デジタルフリーパスの取り扱い)
- ⑩案内所におけるクレジットカード、QR決済コードの取り扱い
- ⑪交通系ICカードの取り扱い ⑫運賃改定の実施 等

交通系ICカード



デジタルサイネージ

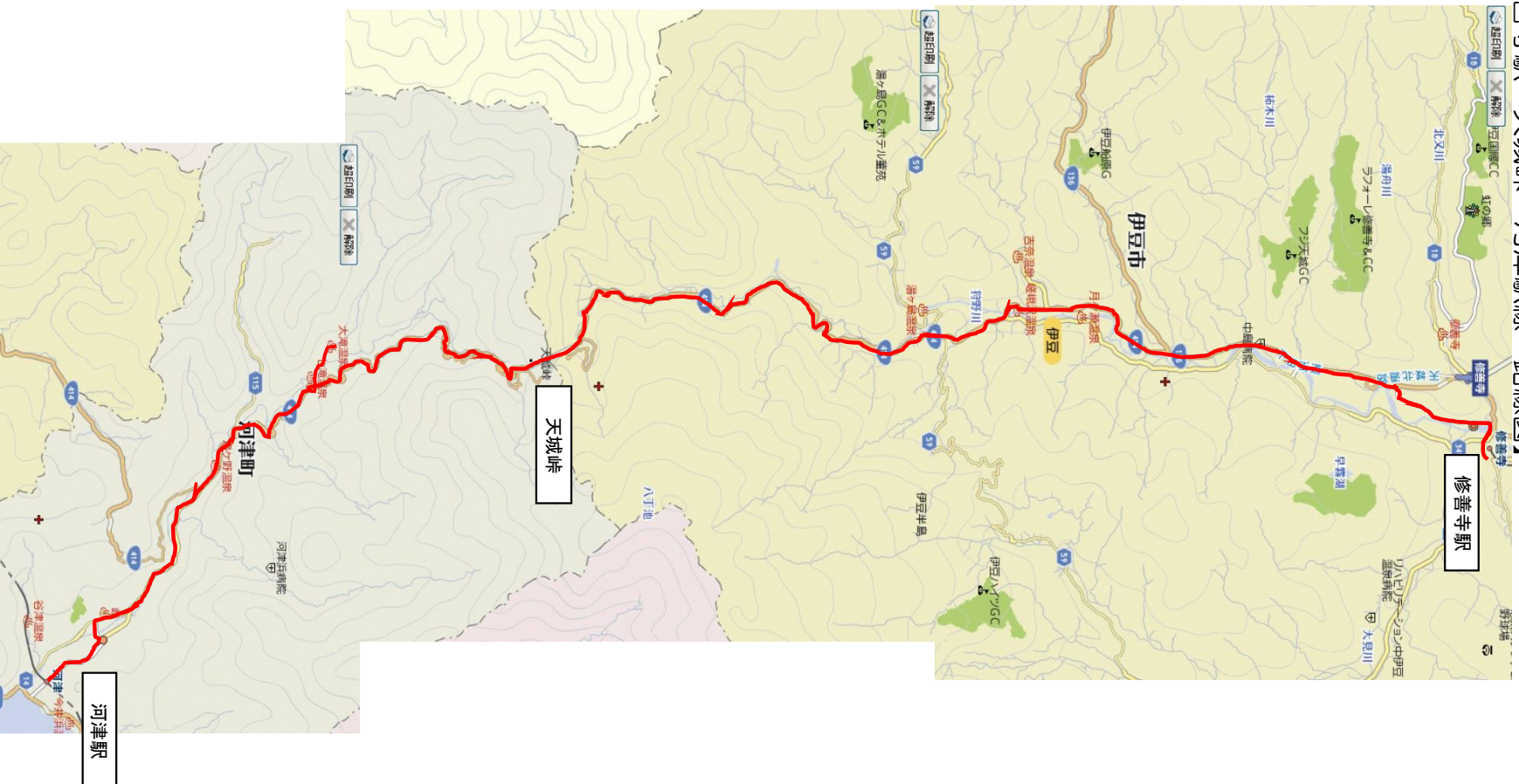


↑バスロケーションシステム



↑バスの乗り方教室

【修善寺駅～天城峠～河津駅線 路線図】

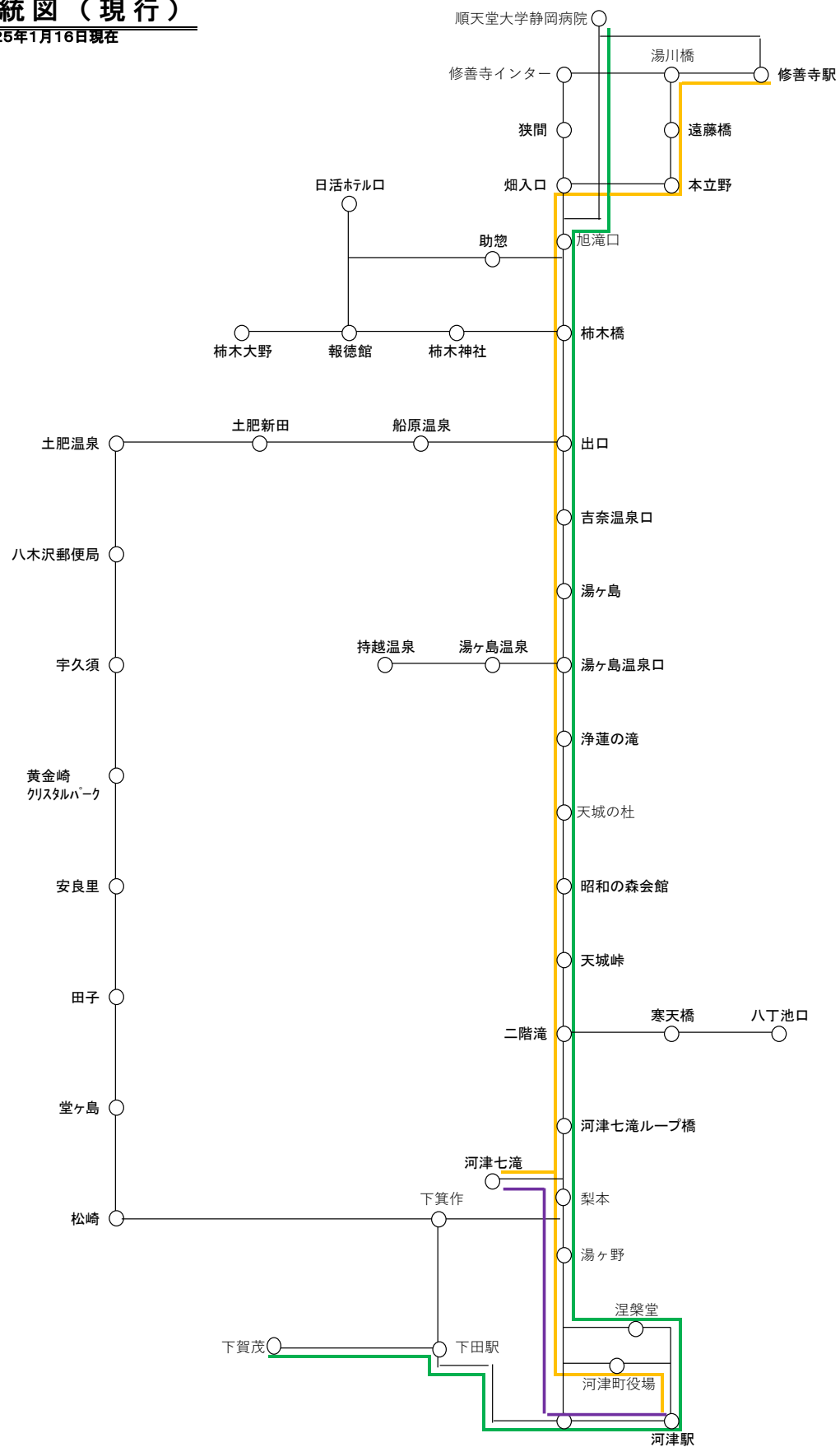


【順天堂病院～修善寺駅～天城峠～下田駅線 路線図①】



運行系統図（現行）

2025年1月16日現在

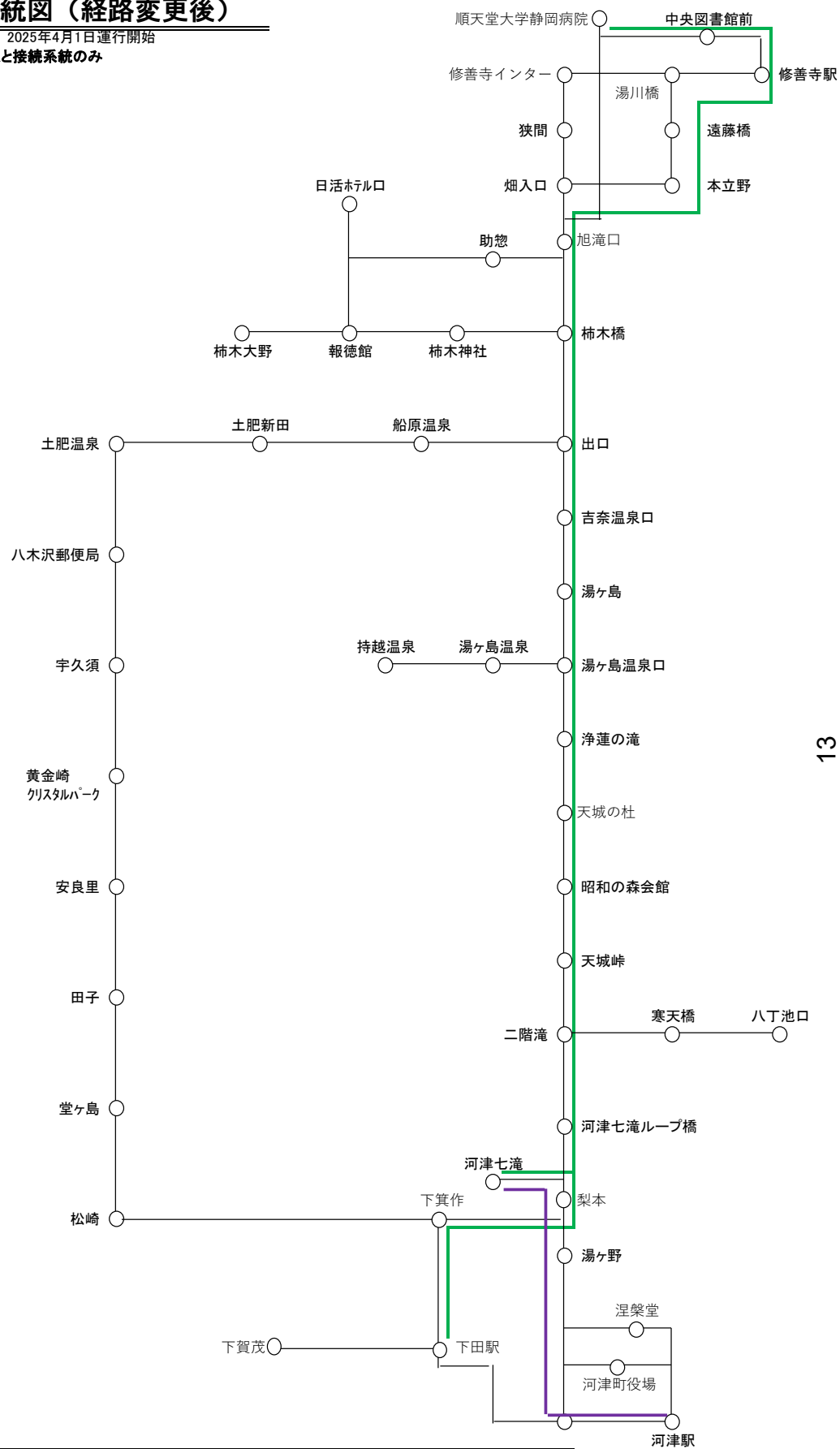


凡例	系統No.	運 行 系 統	備 考
—		下賀茂～下田駅・河津駅～順天堂大学静岡病院	現行1往復(下賀茂⇄旭滝口間は乗車(降車)専用、指定バス停のみ停車)
—		修善寺駅～天城峠～河津駅	現行10往復
—		河津駅～館跡～河津七滝 (河津町自主運行バス)	現行4往復

運行系統図（経路変更後）

2025年4月1日運行開始

※順天堂病院線と接続系統のみ

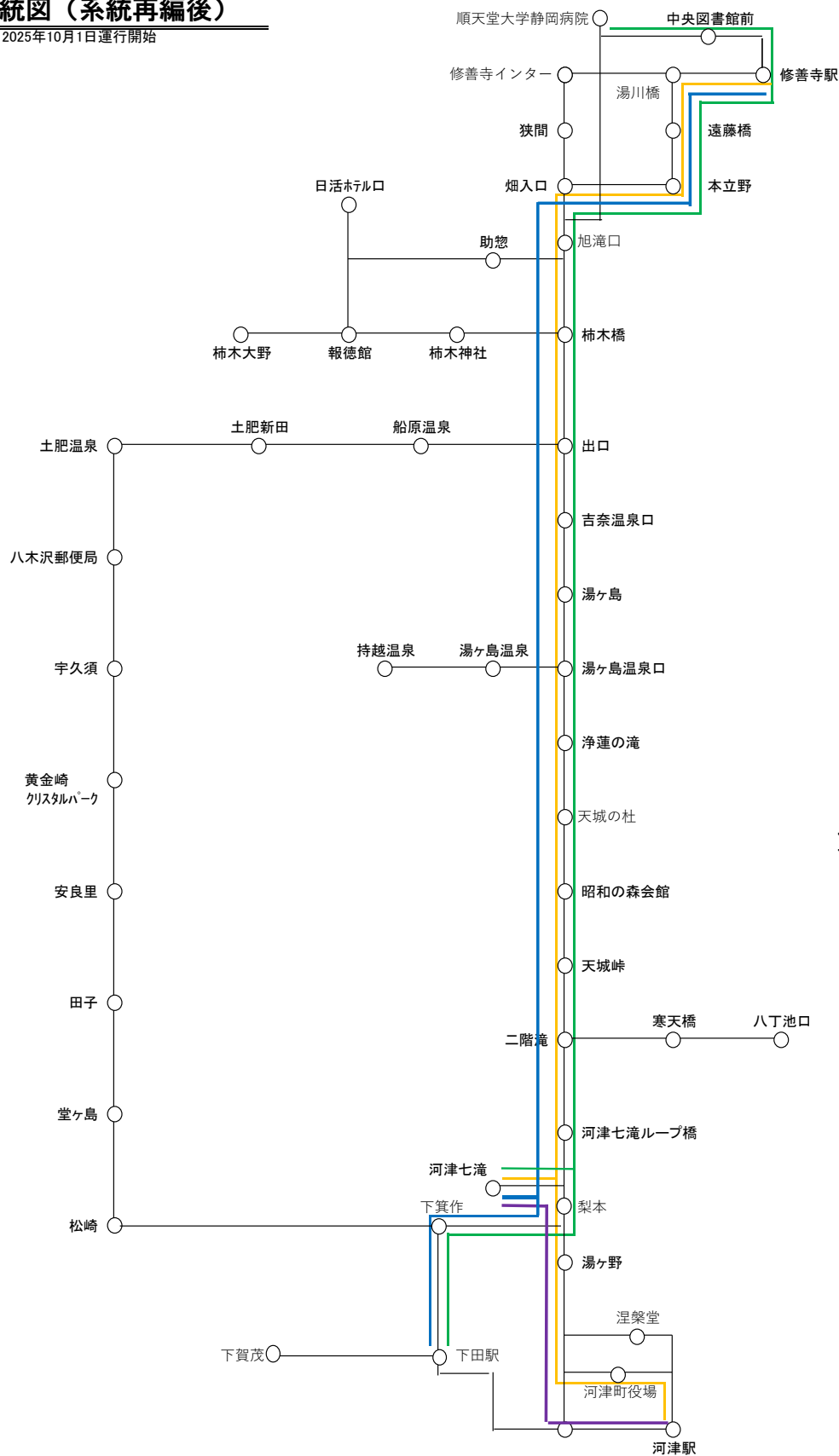


凡例	系統No.	運 行 系 統	備 考
—		下田駅～順天堂大学静岡病院	1往復設定（新設、各バス停停車※）
—		河津駅～館跡～河津七滝（河津町自主運行バス）	現行4往復

※梨本～修善寺駅間

運行系統図（系統再編後）

2025年10月1日運行開始



凡例	系統No.	運 行 系 統	備 考
—		下田駅～修善寺駅～順天堂大学静岡病院（幹線）	1～1.5往復設定（増便）
—		修善寺駅～天城峠～下田駅（幹線）	2～3往復設定（新設）
—		修善寺駅～天城峠～河津駅（幹線）	10往復を6～7往復に変更（減便）
—		河津駅～館跡～河津七滝（河津町自主運行バス）	4往復（変更なし）

分割

市の見解

順天堂大学静岡病院は伊豆地域の広域的な医療拠点であり、通院者に必要な路線として認められることから路線の維持を希望する。